

大竹青年会議所 広報誌

2015 第2号



「不易流行」～夢と希望に満ち溢れた輝くJAYCEEを目指して～

竹を愛した 大運動会

たけリンピック2015

ボランティア募集中!

今夏開催

二〇一五年七月二十五日(土)、大竹市晴海臨海公園球技場において「たけリンピック2015」の開催が決定しました。昨年、大竹市は市制施行六〇周年という節目の年を迎えました。本年はそこから第一歩目の年になります。そこで大竹市にて新たな試みに挑戦しようと考え、大竹市内外から愛される素敵な大竹市を目指し、まちづくりの一環として本大会を企画しています。コンセプトは「大竹の魅力を外に発信」することであり、この大会が一つの魅力を発信する場となればと考えています。「たけリンピック」という、覚えやすく親しみやすい名称にもその思いを込め、全世代が楽しくコミュニケーションできる催事を、大竹の地に創り出す為に、一般参加者を含めスタッフ一同一丸となり鋭意活動中です。

還暦迎えた大竹 新たな試みを

全世代が楽しめる催事 小城実行委員長



今大会の仕掛け人、小城和之実行委員長は、「直接的なコミュニケーションが不足気味な現代社会において、この企画を通して皆が顔をつき合せ、大竹市について真剣に語り合える場を作りたかった。皆で大竹市を盛り上げられればと思いい、開催当日は、全世代が楽しみ、より大竹が好きになってもらえる大会になるよう頑張りたい。」と熱意を語っておりました。(取材：日野浩爾)

2015年度 開催事業のご紹介



講師：GO&DO篠原税理士法人 代表税理士 篠原敦子 様

- ・RCCラジオ「ごぜんさま」出演
- ・中小企業大学校において経営分析・財務諸表の基礎等の講師
- ・県内各地商工会において会員対象に各種税金・経営分析の講師等、多数の講演経験あり

二〇一五年五月十四日(木)から、六月・七月・八月・九月に掛け、毎月一回経営に携わる方、興味のある方を対象に経営能力向上の為に勉強会を開催致します。昨今では、国の経済政策により一部の企業では一定の効果は出ていると報道も有りますが、中小企業ではまだまだ厳しい状況にあります。その様な状況下で会社が利益を出し、存続していく為には、自社の状況を知ることが肝要だと考えています。自社の状況を知るには、決算書を見るのが一番であり、その中でも貸借対照表、損益計算書のポイントを理解し、経営戦略の基礎を学んで頂くための企画です。興味のある方は是非ご参加下さい。

(取材：日野浩爾)

貸借対照表、損益計算書から自社の現状を把握し先を見据える。

※今後の開催スケジュール

- 【開催会場】 大竹商工会議所 4階大ホール 6月・8月開催
- 大竹商工会議所 3F研修室 7月・9月開催
- 【住所】 大竹市油見3丁目18番11号
- 【持参品】 筆記用具、電卓
- 【お問合せ先】 一般社団法人大竹青年会議所事務局
- TEL：0827-52-8006

指導力開発委員会 主催
決算書から見える未来
経営者育成勉強会



【大竹青年会議所ホームページのご案内】

最新の詳しい事業活動の詳細を更新中!!!
URL: <http://www.otakejcc.com/2015/>
右のQRコードをご利用ください。



【facebookでも活動情報を公開中!】

右のQRコードをご利用ください。



2015年度一般社団法人大竹青年会議所 会員紹介

理事長	谷岡 正和	株式会社谷岡保険事務所
直前理事長	藤澤 正治	富士興産株式会社
顧問	萩原 武司	株式会社萩原製作所
監事	入山 剛之	泉産業株式会社
人間力開発部門副理事長	向井 敏亨	今五設備有限会社
社会開発部門副理事長	安森 友和	三興化学工業株式会社
専務理事	田中 大介	田中建設工業株式会社
専務理事セクレタリ	高橋 央史	高橋司法事務所
総務広報委員会	委員長 藤野 広志	藤野商事有限会社
	副委員長 山口 貴宏	有限会社山口屋
	委員 平本 充	平本通船有限会社
地域創生委員会	委員 日野 浩爾	光明寺
	委員長 小城 和之	株式会社小城材木店
	副委員長 廣田 吉則	株式会社大竹環境保全
	委員 奥田 和孝	奥田設備株式会社
	委員 小山 剛司	有限会社大竹新菱自動車
指導力開発委員会	委員長 網代木 秀太	有限会社中国企業
	副委員長 沖野 博志	有限会社おきのや
	委員 出先 康陸	出先産業
	委員 林 和明	日本郵便株式会社大竹木野郵便局

【青年会議所活動で得ることのできる機会と可能性】

青年会議所は20～40歳までの青年が加入できる団体で、地元大竹に留まらず日本全国に697の青年会議所と、約3万3千人の仲間がいます。青年会議所という枠の中で、普段出会うことすらない多くの人々との新たな出会いを経験するチャンスがあり、多くの出会いから自己を成長させ、ネットワークを広げることができます。また、青年会議所の事業は、自分の利害に関係なく失敗を恐れず、思い切り挑戦できますので、自己の成長はもちろん、仲間との感動的な体験をすることも可能です。様々な価値観を持つ仲間とともに推進する青年会議所活動には、無限の可能性がります。

【大竹青年会議所について】

現在、大竹青年会議所には、19名の会員が所属しております。このまちやそこに住む人々のことを思い、様々な事業を少数精鋭ながらも展開し、日々、精進を重ねております。大竹市内、大竹市近郊にお住まい、またはお勤めの方々の入会を心よりお待ちしております。また、様々な事業でのボランティアも募集しております。ご協力いただけるなら誠に幸甚に存じます。一般の皆様にも公開する例会（勉強会）等もありますので、お気軽にお問合せください。ご参加お待ちしております。

新入会員紹介



林 和明 君
（ハヤシ カズアキ）
2015年度入会
生年月日
1975年12月18日

初めまして、新入会員の林和明と申します。大竹市木野にあり大竹木野郵便局に勤務しています。多くの人に広く影響を与える仕事だと思っておりますので、いつも人とのつながりを大切に、誠実に対応することを心がけています。趣味はドライブ、スポーツ、山登り等、体を動かすことが好きです。明るい豊かなまちづくりの実現に向け、大竹を深く知り、仲間と助け合いながら積極的に活動していきますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

**私たちは、新しい仲間を求めています！
20歳～40歳までの青年としての貴重な年月、共に研鑽と成長を重ねる、友情の日々を歩みませんか？
あなたの参加をいつでも歓迎いたします！**

<編集後記>

総務広報委員会委員長の藤野です。季節も変わり暖かくなってきました。この度の広報誌いかがでしたでしょうか？1月から4月までの活動、今後の活動予定を記事にさせて頂きました。広報誌編集、総務広報委員会では委員より時間の過ぎる速さに驚くという感想が多数有りましたが、しかし、これからまだまだ大竹青年会議所の事業が本格化し、具体化されていく目前です。大竹青年会議所活動に触れることのある際は、メンバーの活躍を楽しみにして頂ければと思っております。

《広報誌・活動・入会に関するお問い合わせ先》

一般社団法人大竹青年会議所事務局（大竹商工会議所内）
広島県大竹市油見三丁目18番11号
Tel 0827-52-8006
発行者：総務広報委員会

2月

二月例会



二月七日(土) 大竹商工会議所四階にて二月例会を開催いたしました。二月例会では、公益社団法人小田原青年会議所二〇〇六年度理事長、公益社団法人日本青年会議所二〇一〇年度専務理事等の様々な要職を歴任された上田博和様を講師にお招きして、『目指せ三十三%会員拡大！〜夢と希望に満ち溢れた輝くJAYCEEとして〜』の演題のもと、一般社団法人大竹青年会議所会員の会員拡大に対する意識を高める事を目的とし、ご講演を行なって頂きました。ご講演では、講師自身がJCIに入るきっかけとなった先輩の話や、入会後の会員拡大活動を行ってきた際に、自身が体験し、感じ学んだ事、これまでに勧誘してきた会員が成長された話、人として、男としてどうあるべきかを熱く熱く語って頂きました。笑いあり激励ありのご講演の中から、いかに会員を増やさなければならぬかを伝えて頂き、多くの会員にとって大変心動かされる内容となりました。担当例会である三役会の専務理事の私にとって、講師の上田博和様に本年度良い報告が出来るよう、一年を通して一生懸命取り組み、結果が出せるように努めて参りたいと思います。

(記事：田中大介)

3月

三月公開例会



三月七日(土) 大竹商工会議所四階にて、三月公開例会を開催いたしました。担当委員会は地域創生委員会です。三月公開例会では、講師に日本大学理工学部まちづくり工学科助手であり、一級建築士の落合正行氏をお招きし、『ウチとソトをつなぐまちづくり』ーシビックプライドという視点ーについて、ご講演頂きました。内容につきましては、シビックプライドの歴史、その発生や概念、また現在アムステルダムや日本各地で行われているシビックプライドに関連する活動についての紹介をして頂きました。その中で、講師自らが二〇〇五年から二〇〇八年頃に掛け、静岡県下田市にて、歴史的建造物を活かしたまちづくりに関わる活動の事例を基に、受講者に分かりやすく講演を行なって頂きました。まちの出身者であるウチと、移住者や他のまちの住人のソトの視点が混ざり合い、街の魅力を引きだしていく。大竹の魅力を発展させ、発信していくヒントを多数いただけた有意義な講演でした。受講者の方々にも大竹の魅力を発見し、大竹内外に発信していただけると幸いです。また、まちづくりを担当する委員会として、この度学んだシビックプライドを今後の事業活動に活かし活動して参りたいと思います。

(記事：小城和之)

4月

四月公開例会



四月七日(火)、大竹商工会議所四階にて、四月公開例会を開催いたしました。担当は指導力開発委員会です。税理士の篠原敦子先生にお越しいただき、「決算書から見える未来」と題して、財務諸表の貸借対照表、損益計算書について一般の方を交えて学ばせて頂きました。参加者の方からは、「財務について素人の私にも分かりやすく説明していただき、よく理解できました。次回までに自分なりに勉強してみよう」と意欲の沸く興味深い講義でした。「P/L、B/Sの見方が今までよりも見るところが増えたので、とても勉強になり成長したと思います。」など、

多くの前向きなご感想を頂くことができ、担当委員会としても手応えを感じています。今後も、「決算書の中から自社の状況を把握し、戦略を考える」という活動趣旨のもと、五月勉強会、六月担当例会と九月まで、まだまだ財務諸表について学んでいく予定となっておりますので、日程や参加申込方法等の詳細は随時大竹青年会議所ホームページで公開していきます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(記事：網代木秀太)

新入会員セミナー

四月四日(土)〜五日(日)にかけ、大竹市「自然の家やさか」にて、二〇一五年度新入会員セミナーを開催致しました。新入会員セミナーは、新入会員にとって青年会議所活動が始まる本日の一日目とも言える行事です。本年度のセミナーでは、先輩会員との親睦を深めることに着眼して開催致しました。セミナー中は、新入会員が中心となり、率先して行動していくことを求め、加えて行程の中でJCI活動の基本を学んでもらいました。当日を振り返りますと、参加した新入会員は、自らの個性をアピールし、先輩会員に負けず積極的に参加してくれました。現役会員にとっても、新入会員にとっても、楽しいなかにも厳しさのあった、充実した一泊二日の新入会員セミナーとなったと感じます。今後このセミナーをきっかけとして、今年一年、新入会員のみならず全会員の積極的な活動を望みます。

(記事：網代木秀太)

一般社団法人大竹青年会議所 2015年 1月～4月 活動報告

1月

新年例会

一月七日(水)エスポワールおおたけにて、一般社団法人大竹青年会議所新年例会を開催いたしました。総務広報委員会が担当させて頂きました。大竹青年会議所シニアクラブより一九名の先輩をお招きすることができ、本年度も多くの先輩方より温かいご支援を賜ることができました。

本年度、一般社団法人大竹青年会議所は、谷岡理事長の掲げるスローガン『不易流行く夢と希望に満ち溢れた輝くJAYCEEを目指して』のもと、一年間活動して参ります。一般社団法人大竹青年会議所発足から受け継がれてきた「まちとひと」に対する熱い思いをもとに、本年度の活動、基本方針を伝えさせて頂きました。現役会員が一年間の事業成功に向け良いスタートが切れる様、創意工夫した新年例会でした。その工夫が実り、また、委員長をはじめとする各会員に協力を得ることができ、会員一丸となって一年の船出を切る事ができました。次の担当例会は五月に開催される家族例会です。各会員の協力を得ながら、会の良きパイプ役としても活躍して行きたいと考えています。本年度、一般社団法人大竹青年会議所の下支えとして、会の活動と理念を発信する委員会として、一年の活動を楽しみたいと思います。

(記事：藤野広志)



一月通常総会

一月二十八日(水)、大竹商工会議所三階にて一月通常総会を開催致しました。左記の二議案についての決議が行われ承認となりました。

- 第一号議案 二〇一四年度事業報告並びに決算報告書承認の件
- 第二号議案 二〇一五年度修正予算承認の件

一月通常総会は、二〇一四年度一般社団法人大竹青年会議所の最後の活動の場となります。総会での決議が可決となった後に、二〇一四年度の各活動を担当した委員長が登壇し、一年間の活動の感想を述べ、二〇一五年度の一般社団法人大竹青年会議所メンバーへ思いのこもったバトンが手渡されました。

(記事：藤野広志)



京都會議

一月二十三日(木)～二十五日(日)、全国各地の青年会議所会員が京都国際会議場集いました。この日、京都国際会議場では、公益社団法人日本青年会議所二〇一五年度の運動のスタートの場として、二〇一五年度会頭による基本理念、活動方針の表明が行なわれました。開催期間中は各種講演や著名人による講演が行なわれ、一般公開もされています。参加したメンバーにとって学びの多い有意義な機会となりました。一般社団法人大竹青年会議所からも会員十一名が参加致しました。(記事：藤野広志)

新春会議・新春交流会

一月三十一日(土)、福山の地にて、新春会議・新春交流会が開催されました。広島県内各地全十二の地域の青年会議所会員が集い、広島県内を一つのブロック単位として、青年会議所の運動を行なう出発点となります。広島ブロック協議会二〇一五年度の基本方針並びに事業方針・活動方針を広島県内の各地青年会議所メンバー同士で共有し、共に県単位での運動のスタートを切りました。(記事：藤野広志)

